

白内障

Q

白内障と言われましたが、
どのような病気ですか？
手術が必要と聞き不安です。

お答えします！



眼科西坂医院
院長
西坂 紀実利氏

Answer

白内障の多くは加齢が原因で、手術で視力の回復は可能です。ただし、白内障以外の原因もあり得るため、早めに主治医や専門医に相談しましょう。

白内障は必ずしもたちの悪い、心配な病気ではありません。白内障の多くは加齢による自然な変化であり、髪の毛の白髪や顔のシワと同様に、年齢とともに誰にでも起こるもので、病院で白内障を指摘されても落ち込む必要も、それほど心配する必要もありません。

具体的には、水晶体と呼ばれる眼の中のレンズが濁って、視力が落ちることをいいます。白内障の初期症状としては、まぶしさを感じる人が多いです。加齢以外の原因として、ぶどう膜炎など白内障以外の眼の病気、糖尿病やアトピー性皮膚炎など眼以外の病気やケガによるものもあります。また、白内障は手術で視力を挽回することができる良性の病気です。点眼薬もありますが、進行を遅らせるだけで治す効果はありません。根本的な治療は、濁った水晶体を取り除き、人工のレンズに置き換える手術となります。手術は、通常局所麻酔で行

います。「手術の様子が自分で見えるのだろうか？」と心配する方もいますが、実際には手術顕微鏡の照明がまぶしく詳細は見えません。手術中は器具でまぶたを開きますが、麻酔のため乾きや痛みは感じません。眼に加える切り口は2〜3mmと小さく、出血は少量で手術時間も短く済みます。ただし、手術時間が短いからといって決して簡単な手術ではありません。白内障手術は眼の表面ではなく、眼の中を操作するため高度でかなり繊細な手術です。割合としては少ないですが、さまざまな危険性があり、合併症も起こり得ます。

手術を受ける時期については、「その人が不便だと感じるとき」と考えてよいでしょう。そのため、手術を受ける年齢や白内障の程度は人によってさまざまです。もちろん不自由がなければ、無理に手術をする必要はありません。しかし、例外もあります。進行した白内障をそのままにし

ておくと、緑内障やぶどう膜炎といった他の眼の病気を引き起こす場合もあるのです。また、眼内の組織が弱っている場合は、時期を逃すと手術の危険性がさらに増すことがあるので早めの手術をお勧めします。

注意すべきことは、白内障以外の眼の病気として、例えば網膜などに病気があると視力は回復しにくくなります。さらに手術を終え、明るく見えるようになると飛蚊症など余計なものまで見えてしまうことも多いです。また、「白内障は何回も手術をしなければいけないと聞いた」という質問をされる患者さんがいますが、それは間違いです。白内障手術は濁った水晶体を人工のレンズに交換するので再発す

ることはありません、総入れ歯が虫歯にならないのと似ています。ただし、後発白内障といってレンズを固定する袋が手術後に濁ってくる場合がありますが、これについては5分ほどの1回のレーザー治療で改善できます。手術後の見え方は、遠方重視もしくは近方重視の見え方にするのか選ぶことができます。場合によっては遠近両用にすることも可能です。それぞれ良い点・悪い点がありますので、生活様式にあわせて主治医と相談するとよいでしょう。



白内障手術はほぼ日帰りで行われます。眼科西坂医院では難症例の白内障日帰り手術にも実績をもつ